

第2次那須塩原市総合計画 基本構想の骨子(案)

1 はじめに

(1) 計画策定の趣旨

那須塩原市の誕生と第1次総合計画の策定や、今までのまちづくりの経緯を踏まえ、次に本市が進むべき方向性を明確にするため、第2次総合計画を策定する。

(2) 計画の構成と期間

基本構想は平成29～38年度までの10年間、基本計画は前期・後期に分け、それぞれ5年間とする。

実施計画は、基本計画に定められた施策を計画的・効率的に推進するための事業計画として位置づける。

2 市の概要

那須塩原市の地理的特性や歴史などを記載する。

3 市を取り巻く状況と課題

日本全体の動向も踏まえ、状況変化を把握し課題を整理する。

(1) 人口減少・超高齢社会の到来と地方創生

人口減少と地域経済の縮小

地方における雇用の創出

結婚・出産・子育ての希望実現

(2) 災害に対する意識の変化

大規模災害の教訓と強靱な地域づくり

自助・共助・公助による地域防災力の向上

(3) 地球温暖化対策の推進

低炭素社会の実現

循環型社会の構築

(4) 市民参加によるまちづくり

市民協働のまちづくり

地域デザイン・コミュニティデザインの普及

まちへの愛着度向上

(5) ICTの普及とさらなる発展

スマートフォン・タブレットの普及

ビッグデータの活用

オープンデータの推進

(6) グローバル化の進展

産業におけるグローバル化

教育のグローバル化

(7) 行政サービスの改革推進

自主的かつ自律的な行財政運営

公共施設の維持管理マネジメント

(8) ……

(9) ……

4 市民ニーズの把握

- (1)市民アンケート調査の結果
- (2)中高生アンケート調査の結果
- (3)まちづくり市民ワークショップの実施

5 10年後に目指すまちの姿

- (1)人口

平成27年実施の国勢調査と地方版まち・ひと・しごと創生総合戦略における「人口ビジョン」をもとに、推計人口と目標人口を設定する。

- (2)土地利用

本市の持つ自然環境を保全し、美しい景観を守りながら、適切な規制・誘導を行うとともに、都市のコンパクト化に向けた方向性を示す。

- (3)県北地域の拠点として

県北地域はその歴史・文化・特性に共通点をもつことから、市町村の枠にとらわれない広域的連携を推進することに加え、県北地域最大の面積・人口、鉄道や高速道路の高い利便性などを活かした地域拠点としての機能強化について示す。

- (4)市民が考える10年後のまちの姿

- (5).....

6 まちの将来像

まちづくりにおけるキーワード・理念を整理し、これからの10年間のまちづくりのビジョンとなる、那須塩原らしい将来像を示す。

7 政策の体系

環境、エネルギー、防災、生活、福祉、健康、子育て、基盤整備、産業、経済、教育、文化、協働、行財政などの政策分野を再編し、それぞれの政策の基本的な考えを示す。

計画期間における変化に柔軟に対応するため、施策の体系は基本計画で示す。

